

地元3工場が
心と技術を
合わせた
オーダースーツ
ブランド

WESTORY



ブランド名は「西のストーリー」「我々のストーリー」「最高(EST)」の3つの思いが込められる。サッカーJリーグ「V・ファーレン長崎」公式スーツにも採用。

ジャケットは「アリエス」。スラックスは「エミネント」。シャツは「山喜」。高い技術の県内企業が共同で、紳士スーツスタイルを「メイドイン長崎」で作る画期的な取り組み。
<https://www.westory.jp/>

郷土愛を象徴する世界に一つだけのチェック柄 松浦タータン宣言



英国王室御用ブランド「キンロック・アンダーソン」に「世界にひとつだけのチェック柄」と認定を受けた「松浦タータン」。松浦市の海をイメージしたブルーと、松浦高校のシンボルカラーのグリーンを組み合わせた。産官学の連携組織でさらに普及に取り組む。

WESTORYの
詳細は
こちらから



長崎県の防災意識の高さを形にした 抗菌・抗ウイルスプロダクト

「theCopper7822」はウイルスが付着した瞬間から分解・不活化が開始する。噴霧したマスクは社員に提供されている。また「エミネント ファミリーマスク」を長崎の県内企業に特別価格で提供し、安心・安全の意識向上に尽力している。



「エミネント ファミリーマスク」価格990円。半世紀にわたるスラックス縫製技術を生かした心地よい装着感のマスクに、抗ウイルス加工「theCopper7822」を施す。

に誇る傑作品質は、オンラインショップで展開するファクトリーブランドなどで体感すべし！
さて、最近になって異変が。このモノ言わぬモノづくりの達人メーカーが、松浦にエミネントありと静かなる主張を始めた。動機は地元活性と地域貢献。エミネント松浦工場は、松浦市の企業誘致第一号であり、地域の雇用貢献し、親子二代、三代でスラックスづくりに邁進するファミリーも暮らす。地元あつてのエミネント。そんな地域への感謝と、地域のものづくりを広げたい思いが新事業へ突き動かした。同じ長崎県の平戸市で、創業40年のジャケット専門ファクトリー「アリエス」。長崎県北松浦郡で、50年以上操業するシャツのトップメーカー「山喜」。そしてエミネントと専門工場3社が展開する期待の本格オーダースーツブランドが「WESTORY」である。
そして、松浦高等学校に独自チェック柄の制服を提供する「松浦タータン宣言」は、若者の郷土愛と健全な成長を支える取り組みだ。また、かつて長崎大水害を経験し、防災意識の高い土地柄の真摯な動きで、抗菌・抗ウイルス製品の普及・拡大にも尽力する。
エミネント松浦工場は美しい伊万里湾を望む。これからの傑作品を生み出すのは、自然が豊かな土地で大切に育まれた、郷土愛と地域の人々の絆なのだろう。



123工程で傑作スラックスを縫製する エミネント松浦工場



日本人の体型を細かく研究し、オリジナル立体プレス機で、ヒップラインがシワなくきれいに沿うスラックスが作られる。縫ってはプレス、縫ってはプレスで123工程に及ぶ。



家族のような絆とチームワークがモノづくりの力。単に商品でなく、大切な家族のための大切な一本のつもりでスラックスを縫い上げる。



広い空と緑に囲まれた工場。働く200人近くは全員が地元雇用で女性が9割。20年30年の熟練の担当者が、伝統を守りつつ時代に即した傑作を作り出す。



郷土愛がものづくりの モチベーションを高める

長崎県の北西部・松浦市に工場を構えるエミネント。その社名を知るのとはものづくりに関心が高いモノマガン人！知らない人も、気づかぬうちに卓越した品質を日常的に体感しているはず。大手セレクトショップや有名ブランドのスラックスをOEM生産する創業50年の名門なのである。
職人の技が宝の実直な企業風土に相応しく、ものづくりの心づくりが基本スタンス。声高に技術や品を標榜することは少ない。だが、見る目あるプロは、一流の仕事が放っておかない。
イタリアで開催される世界最大級のメンズプレタ展示会「PITTI IMAGINE UOMO」に、エミネントはグローバルブランド「EICHENZA (越前屋)」として12回の連続出展を果たす。最大123工程に及ぶスラックスに、世界の一流バイヤーも惚れ込み、今や15カ国以上に販路を持つ。快適なフィッティングと美しいシルエツト。型崩れしない耐久性。世界

スラックスの聖地・長崎県松浦市から始まる
新たな日本の傑作品ストーリー
これからの日本のメンズファッションの拠点は西に在り！
青い海と青空に囲まれた長崎県松浦市から、気持ちのいい風が吹くように、ものづくりの新しい展開が始まった。日本有数のスラックス専門工場の技術と郷土愛が生む傑作品とは？
文／モノマガジン編集部